

**製品名: PAK1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21404**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:61kD;Observed MW:61kD

**抗原情報**

遺伝子名	PAK1
別名	PAK1;Serine/threonine-protein kinase PAK 1;Alpha-PAK;p21-activated kinase 1;PAK-1;p65-PAK
遺伝子 ID	5058.0
SwissProt ID	Q13153
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

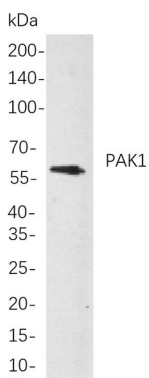
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、PAK タンパク質として知られるセリン / スレオニン p21 活性化キナーゼファミリーのメンバーを

コードしています。これらのタンパク質は、RhoGTPaseを細胞骨格再構成および核シグナル伝達に結びつける重要なエフェクターであり、低分子GTP結合タンパク質であるCdc42およびRacの標的として機能します。この特定のファミリーメンバーは、細胞の運動性と形態を制御します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2010年4月]

## 研究分野

-

## 画像データ



PAK1 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。